

1. 科目名 (単位数)	関係行政論 (2単位)		3. 科目番号	SPPS3354
2. 授業担当教員	古谷 大樹			
4. 授業形態	講義	5. 開講学期	春期	
6. 履修条件・他科目との関係				
7. 講義概要	心理に関する支援において関係する行政制度の把握は重要であり、今日、クライアントやその家族、関係者の支援において必要性が高くなっている。心理に関する支援の保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働等の諸領域における行政の仕組みや法律、倫理について取り上げ、それらの理解を深めると共に、事例に関連したグループ討議を通して、心理に関する支援に関係する行政制度に応じた臨床感覚を養っていく。			
8. 学習目標	以下の6点を学習の目標とする。 ①心理に関する支援における保健医療分野に関係する制度、法律を理解する。 ②心理に関する支援における福祉分野に関係する制度、法律を理解する。 ③心理に関する支援における教育分野に関係する制度、法律を理解する。 ④心理に関する支援における司法・犯罪分野に関係する制度、法律を理解する。 ⑤心理に関する支援における産業・労働分野に関係する制度、法律を理解する。 ⑥心理に関する支援における倫理的対応を理解する。			
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	レポート課題についての詳細は、講義内で説明する。			
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】元永拓郎 (編)『第23巻 関係行政論 第2版 (公認心理師の基礎と実践)』 遠見書房 2020年			
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 心理に関する支援において関係する行政制度と法律に関する基礎的、基本的事項を理解しているか。 2. 心理に関する支援の諸領域におけるこころの健康保持に関する課題を発見する力がついたか。 ○評定の方法 授業への積極的参加度、日常の受講態度、課題レポート・試験等を総合して評価する。 1. 積極的参加度 (発言、討議、学習ノート等) 総合点の 30% 2. 課題レポート・試験等 総合点の 70% 上記の他に、本学の規定に定められている 3/4 以上の出席が単位の取得条件であることも配慮する。			
12. 受講生へのメッセージ	公認心理師と関連する法律・制度を学ぶ講義である。今までの心理学の講義とは、少し異なる内容となり、戸惑いを感じるかもしれないが、受講生には積極的態度を求める。講義内でディスカッションの時間も定期的に設ける予定である。他の受講生とのディスカッションを通じて、学んだことを積極的にアウトプットして、法律・制度の理解を深めて欲しい。			
13. オフィスアワー	初回の講義中に説明する。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第1回	オリエンテーション 日本の法体系	事前学習	日本の法体系について調べておく。	
		事後学習	配布資料を復習する。	
第2回	公認心理師法	事前学習	第1・2章を確認する。	
		事後学習	配布資料を復習する。	
第3回	医療全般	事前学習	第4章を確認する。	
		事後学習	配布資料を復習する。	
第4回	精神科医療	事前学習	第5章を確認する。	
		事後学習	配布資料を復習する。	
第5回	地域保健・医療	事前学習	第6章を確認する。	
		事後学習	配布資料を復習する。	
第6回	児童福祉	事前学習	第7章を確認する。	
		事後学習	配布資料を復習する。	
第7回	障害者・障害児福祉 障害者基本法・障害者総合支援法	事前学習	第8章を確認する。	
		事後学習	配布資料を復習する。	
第8回	障害者・障害児福祉 知的・発達障害	事前学習	第8章を確認する。	
		事後学習	配布資料を復習する。	
第9回	障害者・障害児福祉 身体障害・その他障害関連の法	事前学習	第8章を確認する。	
		事後学習	配布資料を復習する。	
第10回	高齢者福祉	事前学習	第9章を確認する。	
		事後学習	配布資料を復習する。	
第11回	教育 基本	事前学習	第10章を確認する。	
		事後学習	配布資料を復習する。	
第12回	教育 心理的支援	事前学習	第11章を確認する。	
		事後学習	配布資料を復習する。	
第13回	少年非行	事前学習	第14章を確認する。	
		事後学習	配布資料を復習する。	

第14回	産業・労働・障害者雇用	事前学習	第15章を確認する。
		事後学習	配布資料を復習する。
第15回	まとめ	事前学習	今までの資料を読み返す。
		事後学習	レポートを作成する。